

なぜここに古墳が!?

群馬

榛名山の麓には水田開発に適した地形と豊かな水がありました。ここに大陸から来た新しい技術がもたらされ地域が栄え、王は大きな古墳をここ群馬に作るほどの力を持つことができたと言われています。

切り開かれた水路

川から水を引くために水路が作られています。これによりそれまで水が少なかった台地でも農業が可能になりました。

ここから獲れる実りも王の力の源にもなりました。

馬を育てる場所

川に挟まれた小高い土地は水田だけでなく馬を育てるのにも適した場所でした。馬の飼育は大陸から来た渡来人によってもたらされた新たな技術で、育てた馬は大和王権にも運ばれ、繋がりをも強めたと言われています。

また、馬形のはにわも多く存在し、尾崎先生の著書にはほとんどが装飾馬であったと言われています。



小さかった古代の馬

現代の馬(サラブレッド)は体高160cmほどなのに対し古代の馬は現存馬では木曾馬程度のおよそ130cmと推定されています。

